

# 令和3年度委託事業

## 「児童館における福祉的課題を抱える子育て家庭への支援に関する調査研究」

児童館ガイドラインにおいて期待される機能の一つである「子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生予防・早期発見と対応」に関して、全国の児童館において参照されたい取組（モデル的事業）の企画・実施、評価等を実施した。実施においては、有識者7名による調査研究委員会を設置した。

### モデル的事業の企画・実施

- ・ 児童家庭支援センターとの連携による「子育て相談」を継続的支援につなげる取組【岡山県倉敷市：公設民営】
- ・ 庁内連携により遊びや集いの場を活用した母親等への相談支援の取組【愛知県東郷町：直営】
- ・ 児童館外における中・高校生世代が集う居場所へのアウトリーチ活動【愛知県小牧市：公設民営】
- ・ 児童館を拠点に中・高校生世代のコミュニティをつくる取組【沖縄県宮古島市：公設民営】
- ・ 地域の社会資源と連携した学習支援及び軽食の提供事業【愛媛県松山市：公設民営】

### モデル的事業の評価

- ・ 「幅広い支援／専門的支援」「児童館内／館外」を対照的な軸として設定し整理された。児童館の事業領域等が整理された。
- ・ 評価分析のポイントとして、①安心して過ごせる心地よい居場所の提供、②個別のニーズ等を把握、③保護者、家庭への助言・相談支援、④生活習慣の形成支援、⑤他事業所や社会資源との連携、協働の体制づくり、⑥自治体における相談支援体制との関係の6つを持ち、それぞれのモデル的事業を評価した。
- ・ 提言として3つの論点から整理した。①居場所づくり（生活と遊びを支援、子育て家庭支援、中・高校生世代の居場所）、②関係機関へのつなぎ（要対協などとの連携、関係者との協議の場、地域の社会資源との連携）、③直接支援（専門職との連携による一次的相談対応、アウトリーチ、ソーシャルワーク視点、運営マニュアル等の整備）
- ・ 実施内容については、児童館関係者向けセミナーで報告した他、報告書を取りまとめて公開した。

# 令和3年度委託事業

## 「児童館における発達段階等に配慮した遊びのプログラムに関する調査研究」

児童館ガイドラインにおいて期待される機能の一つである「遊び及び生活を通じた子どもの発達の増進」に関して、全国の児童館において参照されたい遊びのプログラムの開発等を実施した。実施においては、有識者5名による調査研究委員会を設置し、開発したプログラムの試行・改善を全国6箇所の児童館と協働して実施した。

### 開発したプログラム

- ・ 乳幼児向けプログラム：基礎運動機能の発達とともに、親子のふれあいを考慮したプログラム（9つ）
- ・ 幼児から小学校低学年向けプログラム：3歳ぐらいからの基礎運動機能のうち、ボール等の物を扱うプログラム（8つ）
- ・ 音楽遊びプログラム：親子のふれあい遊びや小学校低学年のコミュニケーション遊び（8つ）
- ・ 小学生向けプログラム：遊び方がシンプルなものや、複雑かつチームワークが求められるような遊び（6つ）
- ・ 小学校高学年から中・高校生世代向けプログラム：技術や戦略が必要となるものやスポーツをアレンジした遊び（7つ）

### 成果物の公表

- ・ 成果物は多くの事業所等で活用されるよう厚生労働省YouTubeチャンネルにて公開した。
- ・ 開発したプログラムのカテゴリーに合わせて、動画を編集している。（約16分ずつ）
- ・ ナレーションは児童館ガイドラインに基づき、子どもの協力を得て収録するなど、親しみやすい内容とした。

- 【構成】
- ①それぞれのカテゴリーにおける遊びのポイント解説
  - ②プログラムの紹介（実際に子どもが遊んでいる様子や、ルール等をイラストや図で説明）
  - ③児童館で実施した職員や保護者向けアンケートの結果 など



# 令和3年度委託事業 「非常時における児童館の活動に関する調査研究」

自然災害や感染症等の外的要因により、児童館の通常活動を継続することが困難な事態等を「非常時」と定義し、児童館が行う子ども・子育て支援活動を検討するべく、感染症対策や災害時対応を念頭においたモデル的事業を全国8箇所の児童館で実施した。実施にあたっては、有識者6名による調査研究委員会を設置した。

## モデル的事業の企画・実施

- 感染症対策を講じた遊びのプログラム ①中学生を対象としたリアルとオンラインを組み合わせたゲーム企画  
②中高生が企画・運営するeスポーツ大会  
③小学生の企画アイデアをもとにした運動会
- 感染拡大期における子ども・子育て世帯向け支援 ①オンライン無料子ども・子育て相談  
②食材等の提供や課題を抱える子育て世帯への相談支援
- 自然災害を想定したプログラム ①親子防災デイキャンプ、宿泊キャンプ  
②災害時対応ワークショップ（保護者向け、職員向け）  
③大型児童館と連携した被災児童向けプログラム  
④児童館職員による被災地の遊び場づくり（ヒアリングを実施）

## 成果物の作成

- モデル的事業の成果物として『非常時における児童館 とりくみハンドブック ～感染症・自然災害時の対応を考える～』（全52ページ）を作成した。  
【構成】「感染症対策編」「自然災害対応編」の2つに分け、それぞれにおいて  
①基本的な考え方：基礎的理解や対応を検討するための情報提供  
②事例：モデル的事業の内容紹介  
③委員による解説、関係する事例のヒアリング結果、参考資料等

